
甘い香り…？

ぬこん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

甘い香り…？

【Nコード】

N9042Z

【作者名】

ぬこん

【あらすじ】

「彼女になれ」

「俺は男だ！！」

甘々LOVEストーリー！

これはどうしようさぎ↑

「ふわあもうこんな時間かあ」

俺、上沢雪^{カミサワ ユキ}

よく小っちゃくて女の子に間違われるけど、喧嘩は強い方！
さあ支度して学校行こう（^▽^）

ー学校ー

「おはー！！雪ちゃん！」

こいつは加山^{カヤマ} 廉^{レン}

無駄にテンション高いのが特徴。↑

「おはよう…てかちゃんいらねえし W W W」

「だって雪ちゃん可愛いし」

「寒気がしたのは俺だけか？」

眠気に耐えながらHRを聞いていたがやはり無理だった笑
てことで屋上でねよッ

ガタッ

皆がチラッとこっちをみたが俺は気にしなかった…

――屋上――

ゴロンと横になりながら音楽を聞き深い眠りついた

ん？なんか息苦しい…

パッと目を開けるとそこには、

美少年が俺にキスをしていた！！

「うわああああ！何？」

俺はもうパニック状態）　^o^（

「ごちそうさま。」

「はぁ？何言ってるんだよ！！俺は男だ！！」

「そうじゃあ彼女になって。」

：

「む、無理無理！！」

俺はその場から逃げた

あいつはサドなんだよーロッパ

ー教室ー

「おっつう！どったん？」

イライラしてんのに空気よまねえな廉はと思いながらも

「別になんでもない」と答えた

時計を見ると12時32分だった

ちえ（T―T）三時間しかねてないや↑

「あー！廉くん？一緒にご飯食べよ！」

あ、廉はイケメンだしノリがいいから男女関係なくモテる笑

「あっ麻由ちゃん！ごめんねー？今日は雪ちゃんと食べるんだあ
！！」

「そっかああ今度わ麻由と食べてね？」うわあめっちゃ睨まれてる

（泣）↑

てかあいつケバいんだよ！！www

ざまーみやがれと言うかおで睨み返した

「ってなわけで雪ちゃん屋上行こ？？」

「おう＼（＾o＾）／↑↑↑↑」

さっき美少年にキスされたからあんま行きたくない（泣）↑

まあまた会ったらぶっ飛ばしてやる！

ー屋上ー

「ほら雪ちゃんあーん！！」

「馬鹿かお前は付き合ってもないし男同士だぞ？」

あ。やべ廉がしゅんとしたwww

「俺さ雪ちゃんがすきなんだよね」

「え？ああ俺も！」

「おれ雪ちゃんに下心があるんだよ。」

え？どうゆうこと？

「俺たち親友じゃないのか？」

「最初は俺も雪ちゃんの事いい友達だっと思ってたよ。でも雪ちゃん優しいし可愛いし好きになっちゃった…」

ごめんね」

「いや、大丈夫ありがとう」

「じゃあ付き合ってくれるよね」

「え？？」

「俺欲しいものは何としても手に入れたいんだ？

じゃあ今日からよろしくね」

「ちょッ待って」

断ろうとした瞬間

チュ

廉はフレンチキスをし去って行った

運良く屋上には誰も居なかったのでここで気持ちの整理をする事に

した

どうしてもわからないか↑

空は段々と赤くなっていく…

だが俺の心は暗くなっていくばかり

決心がつかない

廉にどう断ろうか…

あいつは一体なんだったんだ？

ただのからかいだったらしいな

この考えだけが頭の中を駆け回りその後が考えられなかった…
数分後

あたりは暗くなったので帰る事にした

だが家に帰っても誰もいない

両親をはやく亡くして今は一人暮らし

高2で一人暮らしなんてと言う理由で白い目で見られていた

昔の事を思い出していると家についていた

――家――

食欲が無いのですこしケータイを弄り眠りについた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9042z/>

甘い香り…？

2011年12月29日01時55分発行